【博士（後期）課程】

法律学・政治学専攻

［政治学専攻 授業科目一覧］

授業科目	単位	担当教員	備考	ページ
政治学特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各4	山　本　健太郎		105・106
政治史特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各4	松　戸　清　裕		106・107
政治過程論特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各4	本　田　　宏		108・109
国際政治学特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各4	若　月　秀　和		109・110
比較政治学特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各4	岩　坂　将　充		111・112
ジャーナリズム論特殊研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各4	韓　　永　學		112・113
論文指導Ⅲ	4	若　月　秀　和		114
論文指導Ⅰ・Ⅲ	各4	樽　見　弘　紀		114・115

■授業科目	■単位	■担当教員
政治学特殊研究Ⅰ	4	山本　健太郎

●授業の到達目標及びテーマ
（テーマ）「実証研究における理論と実践」
（授業の到達目標）実証研究を行ううえでの留意点について，最新の実証研究の実例を見ながら理解し，論文作成の礎とすることを目指す。自身の論文執筆との共通点や相違点を意識しながら受講することが求められる。

●授業の概要
政治学の実証研究を行う上で，意識する必要がある実際上の論点について，最新の優れた実証研究をとりあげながら検討していく。

●授業計画
第１回　イントロダクション
第２回　受講生の論文構想について
第３回　リサーチクエスチョンとは
第４回　リサーチクエスチョンの立て方
第５回　実証研究の実例に見るリサーチクエスチョン
第６回　研究手法の選択について
第７回　定性的研究とは
第８回　定性的研究の利点
第９回　定性的研究の問題点
第10回　定性的研究の実例
第11回　定量的研究とは
第12回　定量的研究の利点
第13回　定性的研究の問題点
第14回　定量的研究の実例
第15回　定性的研究と定量的研究の関係性⑴：二律背反か？
第16回　定性的研究と定量的研究の関係性⑵：架橋できるか？
第17回　両者を用いた研究の実例
第18回　実験的研究とは
第19回　実験的研究の利点
第20回　実験的研究の問題点
第21回　実験的研究の実例
第22回　受講生の論文におけるリサーチクエスチョンの絞り込み
第23回　リサーチクエスチョンの確定
第24回　リサーチクエスチョンの展開
第25回　研究手法の選択肢
第26回　研究手法の選択
第27回　研究手法の実践：データ・資料収集のあり方
第28回　研究内容の報告
第29回　報告のフィードバック
第30回　まとめ

●準備学習の内容
各回ごとにアサインされた論文を熟読し，疑問点やコメントをまとめておくこと。自身の研究に関わる回では，それぞれの課題に合わせて研究を進めたうえで出席することが求められる。

●テキスト
都度指示する。

●参考書
都度指示する。

●学生に対する評価
ゼミでの発言内容を中心に，平常点（100%）で評価する。なお，評価は講義時に個別にコメントする。

■授業科目	■単位	■担当教員
政治学特殊研究Ⅱ	4	山本　健太郎

●授業の到達目標及びテーマ
（テーマ）「実証研究のケース選択と実践」
（授業の到達目標）受講生自身の研究を念頭に置きながら，ケースを選択する際の実際上の基準や問題点等について共に検討し，妥当なケース選択を伴った論文を執筆することを目指す。

●授業の概要
実証研究のケース選択の妥当性について，比較の方法などを視野にとらえつつ検討する。

●授業計画
第１回　ケースとは
第２回　ケースをどのように見極めるか
第３回　１ケースによる研究の実例
第４回　１ケースによる研究の問題点
第５回　１ケースによる研究の意義
第６回　１ケースの選び方
第７回　少数ケースによる研究の実例
第８回　少数ケースによる研究の問題点
第９回　少数ケースによる研究の意義
第10回　少数ケースの選び方
第11回　多数ケースによる研究の実例
第12回　多数ケースによる研究の問題点
第13回　多数ケースによる研究の問題点
第14回　多数ケースの選び方
第15回　比較の意義
第16回　比較の必要性
第17回　比較の実践
第18回　比較の方法論
第19回　博士論文における比較の着眼点
第20回　比較とケース選択
第21回　博士論文におけるケース選択の実践
第22回　博士論文におけるケース選択の妥当性
第23回　博士論文における比較の実践
第24回　博士論文における比較の妥当性
第25回　博士論文におけるケース分析の手法
第26回　博士論文におけるケース分析の実践
第27回　博士論文におけるケース分析の批判的検討
第28回　博士論文におけるケース分析の修正
第29回　博士論文におけるケース分析の完成
第30回　まとめ

●準備学習の内容
各回ごとにアサインされた論文がある場合は事前に熟読し，疑問点やコメントをまとめておくこと。自身の研究に関わる回では，それぞれの課題に合わせて研究を進めたうえで出席することが求められる。

●テキスト
都度指示する。

●参考書
都度指示する。

●学生に対する評価
ゼミでの発言内容を中心に，平常点（100%）で評価する。なお，評価は講義時に個別にコメントする。

■授業科目	■単位	■担当教員
政治学特殊研究Ⅲ	4	山本　健太郎

●授業の到達目標及びテーマ

（テーマ）「実証研究の完成」

（授業の到達目標）博士論文の内容を細かく確認しながら，優れた論文を完成させることを目標とする。

●授業の概要

博士論文の内容を確認しながら，質の高い論文の完成につなげていく。

●授業計画

第１回　先行研究とは
第２回　先行研究のまとめ方
第３回　先行研究のチョイス
第４回　先行研究に関する章の検討
第５回　先行研究に関する章の修正稿の検討
第６回　先行研究に関する章の完成
第７回　事例研究の章（３章）の検討
第８回　事例研究の章（３章）の修正稿の検討
第９回　事例研究の章（３章）の完成
第10回　事例研究の章（４章）の検討
第11回　事例研究の章（４章）の修正稿の検討
第12回　事例研究の章（４章）の完成
第13回　事例研究の章（５章）の検討
第14回　事例研究の章（５章）の修正稿の検討
第15回　事例研究の章（５章）の完成
第16回　事例研究の章（６章）の検討
第17回　事例研究の章（６章）の修正稿の検討
第18回　事例研究の章（６章）の完成
第19回　事例研究の章（７章）の検討
第20回　事例研究の章（７章）の修正稿の検討
第21回　事例研究の章（７章）の完成
第22回　事例研究の章（８章）の検討
第23回　事例研究の章（８章）の修正稿の検討
第24回　事例研究の章（８章）の完成
第25回　１章の検討
第26回　１章の修正稿の検討
第27回　終章の検討
第28回　終章の修正稿の検討
第29回　参考文献表の完成
第30回　博士論文の完成

●準備学習の内容

各回までに，博士論文の該当部分を執筆したうえで講義に臨むこと。

●テキスト

都度指示する。

●参考書

都度指示する。

●学生に対する評価

ゼミでの発言内容を中心に，平常点（100%）で評価する。なお，評価は講義時に個別にコメントする。

■授業科目	■単位	■担当教員
政治史特殊研究Ⅰ	4	松戸　清裕

●授業の到達目標及びテーマ

博士論文の大まかなテーマを見出だすことを到達目標とする。

修士論文の再検討を通じて，公表する学術論文の準備と博士論文の構想に取り組むことがテーマとなる。

●授業の概要

修士論文の再検討と公表する学術論文の主題の明確化，先行研究の再検討および関連文献の検討，研究報告などが授業の中心となる。

●授業計画

第１回　修士論文の再検討(1)：修士論文を読み進めつつ，問題点や今後の課題を検討する。
第２回　修士論文の再検討(2)：第１回の続き。
第３回　修士論文の再検討(3)：第２回の続き。
第４回　修士論文の再検討(4)：第３回の続き。
第５回　先行研究の再検討(1)：第１～４回の検討結果に基づき，先行研究の理解と扱いが適切だったか再検討する。
第６回　先行研究の再検討(2)：第５回の続き。
第７回　関連文献の検討(1)：第１～６回の検討結果に基づき，関連文献について検討する。
第８回　関連文献の検討(2)：第７回の続き。
第９回　関連文献の検討(3)：第８回の続き。
第10回　関連文献の検討(4)：第９回の続き。
第11回　学術論文の大筋の報告 (1)：修士論文に基づいて公表する学術論文の大筋の報告。
第12回　博士論文の構想の報告(1)：第１～10回の検討を踏まえた，博士論文の構想に関する報告。
第13回　学術論文の大筋の報告(2)：第11回の続き。
第14回　博士論文の構想の報告 (2)：第12回の続き。
第15回　関連文献の再検討(1)：第11～14回の検討を踏まえた，関連文献の再検討。
第16回　関連文献の再検討(2)：第15回の続き。
第17回　関連文献の再検討(3)：第16回の続き。
第18回　学術論文の大筋の報告(3)：第11・13，15～17回の検討を踏まえた，学術論文の大筋の報告。
第19回　博士論文の構想の報告(3)：第12，14～17回の検討を踏まえた，博士論文の構想の報告。
第20回　関連文献の再検討(4)：第18・19回の報告とその検討を踏まえた，関連文献の再検討。
第21回　関連文献の再検討(5)：第20回の続き。
第22回　関連文献の再検討(6)：第21回の続き。
第23回　学術論文に基づく報告(1)：第22回までの検討を踏まえて学術論文の草稿を執筆し，それに基づいて報告する。
第24回　学術論文に基づく報告(2)：第23回の続き。
第25回　学術論文に基づく報告(3)：第24回の続き。
第26回　博士論文の構想の報告(4)：第22回までの検討を踏まえた，博士論文の構想の報告。
第27回　博士論文の構想の報告(5)：第26回の続き。
第28回　博士論文の構想の報告(6)：第27回の続き。
第29回　博士論文の構想の報告(7)：第28回の続き。
第30回　学術論文の最終的な検討：第23～25回の報告を踏まえて書き上げた学術論文の最終的な検討。

●準備学習の内容

各回の報告内容を十分準備し，資料を用意して出席すること。

●テキスト

なし。

●参考書

なし。

●学生に対する評価

毎回の課題への取り組みによって評価する（100%）。求めに応じて講評をおこなう。

■授業科目	■単位	■担当教員
政治史特殊研究Ⅱ	4	松戸　清裕

●授業の到達目標及びテーマ

博士論文の構想を固めていくとともに，公表する学術論文のための論点を明確化することを到達目標とする。

先行研究の検討と位置づけがテーマとなる。

●授業の概要

到達目標とテーマに即した文献の検討と研究報告が授業の中心となる。

●授業計画

第１回　政治史特殊研究Ⅰで取り組んだ学術論文の再検討(1)
第２回　政治史特殊研究Ⅰで取り組んだ学術論文の再検討(2)：第１回の続き。
第３回　博士論文の大まかな構想 (1)：政治史特殊研究Ⅰでの検討を踏まえた，博士論文の構想の報告。
第４回　博士論文の大まかな構想 (2)：第３回の続き。
第５回　博士論文の大まかな構想 (3)：第４回の続き。
第６回　学術論文のための新たな論点の確認 (1)：第１・２回の検討を踏まえた，新たな論点の確認。
第７回　学術論文のための新たな論点の確認 (2)：第６回の続き。
第８回　関連文献の検討(1)：第１～７回の検討を踏まえた，関連文献の検討。
第９回　関連文献の検討(2)：第８回の続き。
第10回　関連文献の検討(3)：第９回の続き。
第11回　関連文献の検討(4)：第10回の続き。
第12回　関連文献の検討(5)：第11回の続き。
第13回　博士論文の大まかな構想(4)：第３～５，８～12回の検討を踏まえた，博士論文の構想の報告。
第14回　博士論文の大まかな構想(5)：第13回の続き。
第15回　博士論文の大まかな構想(6)：第14回の続き。
第16回　学術論文の構想 (1)：第６～12回の検討を踏まえた，学術論文の構想の報告。
第17回　学術論文の構想 (2)：第16回の続き。
第18回　関連文献の検討 (6)：第13～17回の検討を踏まえた，関連文献の検討。
第19回　関連文献の検討 (7)：第18回の続き。
第20回　関連文献の検討 (8)：第19回の続き。
第21回　関連文献の検討 (9)：第20回の続き。
第22回　関連文献の検討 (10)：第21回の続き。
第23回　博士論文の論点整理 (1)：第13～15，18～22回の検討を踏まえた，博士論文の論点整理。
第24回　博士論文の論点整理 (2)：第23回の続き。
第25回　博士論文の論点整理 (3)：第24回の続き。
第26回　博士論文の論点整理 (4)：第25回の続き。
第27回　博士論文の論点整理 (5)：第26回の続き。
第28回　博士論文の構成の検討 (1)：第23～27回の検討を踏まえた，博士論文の構成の検討。
第29回　博士論文の構成の検討 (2)：第28回の続き。
第30回　博士論文の構成の検討 (3)：第29回の続き。

●準備学習の内容

各回の報告内容を十分準備し，資料を用意して出席すること。

●テキスト

なし。

●参考書

なし。

●学生に対する評価

毎回の課題への取り組みによって評価する（100％）。求めに応じて講評をおこなう。

■授業科目	■単位	■担当教員
政治史特殊研究Ⅲ	4	松戸　清裕

●授業の到達目標及びテーマ

学術論文を公表すること，および博士論文を完成することを到達目標とする。

解明すべき課題の確定，先行研究の位置づけ，論文の適切な構成などが主なテーマとなる。

●授業の概要

到達目標とテーマに即した文献の検討および研究報告が授業の中心となる。

●授業計画

第１回　政治史特殊研究Ⅱで取り組んだ学術論文の再検討 (1)
第２回　政治史特殊研究Ⅱで取り組んだ学術論文の再検討 (2)：第１回の続き。
第３回　博士論文の構想の再検討(1)：政治史特殊研究Ⅱで示した博士論文の構想の再検討
第４回　博士論文の構想の再検討(2)：第３回の続き。
第５回　先行研究の最終確認(1)：第３～４回の検討を踏まえた，先行研究の最終確認。
第６回　先行研究の最終確認(2)：第５回の続き。
第７回　先行研究の最終確認(3)：第６回の続き。
第８回　先行研究の最終確認(4)：第７回の続き。
第９回　博士論文中間報告へ向けた準備(1)：第３～８回の検討を踏まえた，博士論文中間報告会へ向けた準備報告。
第10回　博士論文中間報告へ向けた準備(2)：第９回の続き。
第11回　博士論文中間報告へ向けた準備(3)：第10回の続き。
第12回　博士論文中間報告へ向けた準備(4)：第11回の続き。
第13回　博士論文中間報告へ向けた準備(5)：第12回の続き。
第14回　博士論文中間報告の反省(1)：博士論文中間報告会の反省と今後の課題の検討
第15回　博士論文中間報告の反省(2)：第14回の続き。
第16回　学術論文の構成確認(1)：第１・２回の検討を踏まえた，学術論文の構成確認。
第17回　学術論文の構成確認(2)：第16回の続き。
第18回　学術論文の最終確認(1)：第16・17回の検討を踏まえた，学術論文の最終確認。
第19回　学術論文の最終確認(2)：第18回の続き。
第20回　博士論文各章の検討(1)：第14・15回の検討を踏まえた，博士論文各章の検討。
第21回　博士論文各章の検討(2)：第20回の続き。
第22回　博士論文各章の検討(3)：第21回の続き。
第23回　博士論文各章の検討(4)：第22回の続き。
第24回　博士論文各章の検討(5)：第23回の続き。
第25回　博士論文各章の検討(6)：第24回の続き。
第26回　博士論文全体の最終検討(1)：第14・15，20～25回の検討を踏まえた，博士論文全体の最終検討。
第27回　博士論文全体の最終検討(2)：第26回の続き。
第28回　博士論文全体の最終検討(3)：第27回の続き。
第29回　博士論文の結論の最終検討(1)：第27・28回の検討を踏まえた，博士論文の結論の最終検討。
第30回　博士論文の結論の最終検討(2)：第29回の続き。

●準備学習の内容

各回の報告内容を十分準備し，資料を用意して出席すること。

●テキスト

なし。

●参考書

なし。

●学生に対する評価

毎回の取り組みによって評価する（100％）。求めに応じて講評をおこなう。

■授業科目	■単位	■担当教員
政治過程論特殊研究Ⅰ	4	本田　宏

●授業の到達目標及びテーマ
修士論文の再検討と，博士論文の研究テーマを固めることが目標である。テーマは学生が決める。

●授業の概要
文献の読み合わせや調査状況の報告，研究計画や方法の練り直しを繰り返すことで，論文作成への準備作業を支援する。

●授業計画
第１回　ガイダンス
第２回　修士論文の大枠の再検討
第３回　修士論文の個別の再検討
第４回　テーマに関するブレインストーミング
第５回　方法論に関するブレインストーミング
第６回　分析視角に関するブレインストーミング
第７回　参考文献の調査
第８回　参考文献の検討
第９回　参考文献の再検討
第10回　先行研究の調査
第11回　先行研究の検討
第12回　特定文献の読み合わせ
第13回　先行研究の再検討
第14回　テーマの暫定的な設定
第15回　テーマの再検討
第16回　特定文献の要約
第17回　特定文献の整理
第18回　特定文献の検討
第19回　特定文献の再検討
第20回　特定文献の考察
第21回　特定文献の再考
第22回　特定文献の読み込み
第23回　分析視角の検討
第24回　分析視角の再検討
第25回　分析視角の形成
第26回　分析視角の整理
第27回　調査方法の検討
第28回　調査方法の再検討
第29回　テーマの確定
第30回　まとめ

●準備学習の内容
毎回の報告を簡潔なレジュメにまとめておくことが求められる。

●テキスト
受講者との事前の協議によって決める。

●参考書
授業の際に紹介する。

●学生に対する評価
報告内容で100％評価する。報告内容については授業内にコメントする。

■授業科目	■単位	■担当教員
政治過程論特殊研究Ⅱ	4	本田　宏

●授業の到達目標及びテーマ
受講生が固めた博士論文の研究テーマに関する事例調査の検討と分析視角や方法論の修正。研究計画書の完成が目標。

●授業の概要
政治過程論特殊研究Ⅰに引き続いて，文献の読み合わせや調査状況の報告，研究計画・方法の練り直しを繰り返し，論文作成の準備作業を行う。

●授業計画
第１回　ガイダンス
第２回　事例の検討
第３回　事例の再検討
第４回　分析視角の再検討
第５回　研究計画書の作成
第６回　事例調査の進行状況の報告
第７回　事例調査の進行状況の整理
第８回　事例調査の考察
第９回　事例調査の再考
第10回　計画の再検討
第11回　事例の再検討
第12回　事例調査の進行状況の報告
第13回　事例調査の進行状況の整理
第14回　事例調査の考察
第15回　事例調査の再考
第16回　調査方法の検討
第17回　調査方法の再検討
第18回　事例調査の進行状況の報告
第19回　事例調査の進行状況の整理
第20回　事例調査の考察
第21回　事例調査の再考
第22回　事例調査の再整理
第23回　調査の方法の再検討
第24回　調査方法の修正
第25回　事例の確定
第26回　調査状況の総括
第27回　調査方法の修正
第28回　分析視角の修正
第29回　研究計画書の完成
第30回　まとめ

●準備学習の内容
毎回の報告を簡潔なレジュメにまとめておくことが求められる。

●テキスト
受講者との事前の協議によって決める。

●参考書
授業の際に紹介する。

●学生に対する評価
報告内容で100％評価する。授業内でフィードバックを行う。

■授業科目	■単位	■担当教員
政治過程論特殊研究Ⅲ	4	本田　宏

●授業の到達目標及びテーマ
博士論文の完成が目標である。受講生がテーマを決める。

●授業の概要
受講者が設定したテーマに関して，文献の調査・執筆の状況報告を繰り返しながら，論文を完成させる。

●授業計画
第１回　文献・分析視角・調査方法の修正
第２回　論文序章前半作成
第３回　論文序章後半作成
第４回　章立ての作成
第５回　論文第一章第一節作成
第６回　論文第一章第二節作成
第７回　論文第一章第三節作成
第８回　論文第一章第四節作成
第９回　論文第二章第一節作成
第10回　論文第二章第二節作成
第11回　論文第二章第三節作成
第12回　論文第二章第四節作成
第13回　論文第三章第一節作成
第14回　論文第三章第二節作成
第15回　論文第三章第三節作成
第16回　論文第三章第四節作成
第17回　論文第四章第一節作成
第18回　論文第四章第二節作成
第19回　論文第四章第三節作成
第20回　論文第四章第四節作成
第21回　論文結論の作成
第22回　論文結論の修正
第23回　論文序章修正
第24回　論文各章の修正
第25回　論文各章の整合性の確保
第26回　論文各章の整合性の確認
第27回　論文各章の整合性の再確認
第28回　論文結論の再修正
第29回　論文序章の再修正
第30回　論文の最終点検・完成

●準備学習の内容
毎回論文を一定のペースで書いていくことが求められる。

●テキスト
特になし。

●参考書
演習時に適宜紹介する。

●学生に対する評価
報告内容と論文（各50％）による。授業内でフィードバックを行う。

■授業科目	■単位	■担当教員
国際政治学特殊研究Ⅰ	4	若月　秀和

●授業の到達目標及びテーマ
テーマ：修士論文からの発展。
到達目標：修士論文の再検討を踏まえて，新たな研究テーマを設定したうえで，それに沿って先行研究や関連文献を読み込み，博士論文の方向性を固めていく。また，同時に修士論文をもとに学術論文発表の準備を進める。

●授業の概要
到達目標に即して，文献の検討と担当教員との話し合い，研究報告が授業の中心となる。

●授業計画
第１回　修士論文の再説
第２回　修士論文に関する質疑応答
第３回　修士論文の問題点抽出
第４回　修士論文の改善点抽出
第５回　新たな研究テーマの設定①（学生の関心の所在を探る）
第６回　新たな研究テーマの設定②（学生の関心の焦点を絞る）
第７回　新たな研究テーマの設定③（修士論文との関連性を整理）
第８回　新たな研究テーマの設定④（研究テーマの学術的な位置づけ・意義を検討）
第９回　新たな研究テーマの設定⑤（研究テーマの問題点を検討）
第10回　新たな研究テーマの設定⑥（研究テーマを設定）
第11回　先行研究の検討①（読み込み）
第12回　先行研究の検討②（読み込み）
第13回　先行研究の検討③（整理）
第14回　先行研究の検討④（整理）
第15回　先行研究の検討⑤（比較）
第16回　先行研究の検討⑥（比較）
第17回　博士論文の構想の報告①
第18回　学術論文の概要の報告①
第19回　関連文献の読み込み①
第20回　関連文献の読み込み②
第21回　関連文献の整理①
第22回　関連文献の整理②
第23回　関連文献の比較①
第24回　博士論文の構想の報告②
第25回　学術論文の内容の検討①
第26回　関連文献の比較②
第27回　関連文献の比較③
第28回　先行研究の中での本研究の位置づけを再検討
第29回　学術論文の内容の最終検討①
第30回　博士論文の構想の報告③

●準備学習の内容
授業計画に沿って，文献要約や報告が適切にできるよう入念な準備をすること。

●テキスト
特になし。

●参考書
適宜紹介する。

●学生に対する評価
授業中の発言内容（50％）と報告内容（50％）で評価。報告内容の結果については授業内で個々にコメントする。

■授業科目	■単位	■担当教員
国際政治学特殊研究Ⅱ	4	若月　秀和

●授業の到達目標及びテーマ

テーマ：博士論文の大枠形成。

到達目標：前年度の授業を踏まえて，博士論文作成に向けて関連文献を読み，同論文の概要報告を通じて，その内容をより具体的に固めていく。また同時に，博士論文の方向性に付随した形の学術論文発表の準備も進める。

●授業の概要

到達目標に即して，文献の検討と担当教員との話し合い，研究報告が授業の中心となる。

●授業計画

第１回　前年度の反省と今年度の展望
第２回　関連文献の読み込み①
第３回　関連文献の読み込み②
第４回　関連文献の整理①
第５回　関連文献の整理②
第６回　関連文献の比較
第７回　博士論文の概要報告①
第８回　学術論文の概要の報告①
第９回　関連文献の読み込み①
第10回　関連文献の読み込み②
第11回　関連文献の整理
第12回　関連文献の比較
第13回　博士論文の概要報告②
第14回　学術論文の内容の報告①
第15回　関連文献の読み込み①
第16回　関連文献の読み込み②
第17回　関連文献の整理
第18回　関連文献の比較
第19回　博士論文の概要報告③
第20回　学術論文の内容の最終検討①
第21回　関連文献の読み込み①
第22回　関連文献の読み込み②
第23回　関連文献の整理
第24回　関連文献の比較
第25回　博士論文の概要報告④
第26回　博士論文に関する問題設定・先行研究との対比①
第27回　博士論文に関する問題設定・先行研究との対比②
第28回　博士論文に関する問題設定の再確認①
第29回　博士論文に関する問題設定の再確認②
第30回　博士論文の概要報告⑤

●準備学習の内容

授業計画に沿って，文献要約や報告が適切にできるよう入念な準備をすること。

●テキスト

特になし。

●参考書

適宜紹介する。

●学生に対する評価

授業中の発言内容（50％）と報告内容（50％）で評価。その結果については授業内で個々にコメントする。

■授業科目	■単位	■担当教員
国際政治学特殊研究Ⅲ	4	若月　秀和

●授業の到達目標及びテーマ

テーマ：博士論文の完成に向けて。

到達目標：受講生が決定したテーマに関する博士論文の完成を目標とする。

●授業の概要

前年度までに作成した博士論文の概要を出発点として，論文の問題設定に即しているか，あるいは章と章のつながりを確認しながら，執筆作業を進めていく。

●授業計画

第１回　オリエンテーション
第２回　序章の内容に関する質疑
第３回　序章の内容の確定
第４回　第１章の内容に関する検討
第５回　第１章の内容に関する質疑
第６回　第１章の内容に関する再検討
第７回　第１章の内容に関する再質疑
第８回　第１章の内容の確定
第９回　第２章の内容に関する検討
第10回　第２章の内容に関する質疑
第11回　第２章の内容に関する再検討
第12回　第２章の内容に関する再質疑
第13回　第２章の内容の確定
第14回　第３章の内容に関する検討
第15回　第３章の内容に関する質疑
第16回　第３章の内容に関する再検討
第17回　第３章の内容に関する再質疑
第18回　第３章の内容の確定
第19回　第４章の内容に関する検討
第20回　第４章の内容に関する質疑
第21回　第４章の内容に関する再検討
第22回　第４章の内容に関する再質疑
第23回　第４章の内容の確定
第24回　第５章の内容に関する検討
第25回　第５章の内容に関する質疑
第26回　第５章の内容に関する再検討
第27回　第５章の内容に関する再質疑
第28回　第５章の内容の確定
第29回　最終章の内容の検討
第30回　最終章の内容の確定

●準備学習の内容

一定のペース配分に基づいて，決められた範囲まで執筆作業を進める。

●テキスト

特になし。

●参考書

適宜紹介する。

●学生に対する評価

報告内容（20％）及び論文（80％）による。その内容・結果については 授業内で個々にコメントする。

■授業科目	■単位	■担当教員
比較政治学特殊研究Ⅰ	4	岩坂　将充

●授業の到達目標及びテーマ

テーマ：修士論文の批判的検討ならびに博士論文の構想策定

到達目標：博士論文で扱うテーマを決定し，完成に向けた計画を立案する

●授業の概要

提出した修士論文の改善点を確認し，論文としての質をどのように高められるかを検討する。また，修士論文の批判的検討を踏まえたうえで，博士論文の構想を練り，完成に向けた計画を立てる。また，学術論文投稿・学会報告の準備も並行してすすめる。授業内では，受講生の報告にもとづき，フィードバックならびにディスカッションをおこなう。

なお，授業計画は受講生のテーマや進捗状況に応じて変更がありうる。

●授業計画

第１回　イントロダクション
第２回　修士論文の批判的検討
第３回　修士論文の問題点の確認
第４回　修士論文の改善点の検討
第５回　博士論文テーマについての検討①（関心の所在）
第６回　博士論文テーマについての検討②（方法論の検討）
第７回　博士論文テーマについての検討③（先行研究の整理）
第８回　博士論文テーマについての検討④（先行研究の精査）
第９回　博士論文テーマについての検討⑤（文献の検討）
第10回　博士論文テーマについての検討⑥（文献の再検討）
第11回　博士論文テーマについての検討⑦（現地・資料調査の検討）
第12回　博士論文テーマについての検討⑧（現地・資料調査の再検討）
第13回　テーマの暫定的な設定と報告
第14回　暫定的テーマの検討
第15回　暫定的テーマの再検討
第16回　博士論文の構想の報告①（第一段階）
第17回　先行研究・文献の読み込み（第一段階・整理）
第18回　先行研究・文献の読み込み（第一段階・精読）
第19回　先行研究・文献の読み込み（第一段階・検討）
第20回　博士論文の構想の再検討①（第一段階）
第21回　博士論文の構想の報告②（第二段階）
第22回　先行研究・文献の読み込み（第二段階・整理）
第23回　先行研究・文献の読み込み（第二段階・精読）
第24回　先行研究・文献の読み込み（第二段階・検討）
第25回　博士論文の構想の再検討②（第二段階）
第26回　博士論文の構想の報告③（最終段階）
第27回　先行研究・文献の読み込み（最終段階・整理）
第28回　先行研究・文献の読み込み（最終段階・精読）
第29回　先行研究・文献の読み込み（最終段階・検討）
第30回　博士論文テーマの決定

●準備学習の内容

受講生は報告の際には毎回レジュメを作成する必要がある。また，博士論文執筆に向けた計画的な準備も求められる。

●テキスト

受講生との協議によって決定する。

●参考書

適宜紹介する。

●学生に対する評価

毎回の報告内容（100%）によって評価する。報告についてのフィードバックは授業内におこなう。

■授業科目	■単位	■担当教員
比較政治学特殊研究Ⅱ	4	岩坂　将充

●授業の到達目標及びテーマ

テーマ：博士論文の執筆ならびに大枠の完成

到達目標：博士論文の執筆をすすめ，大枠を完成させる

●授業の概要

「比較政治学特殊研究Ⅰ」での作業を踏まえ，文献の整理や精読，調査報告をもとに研究計画の検討を繰り返しおこなう。また，学術論文投稿・学会報告の準備も並行してすすめる。授業内では，受講生の報告にもとづき，フィードバックならびにディスカッションをおこなう。

なお，授業計画は受講生のテーマや進捗状況に応じて変更がありうる。

●授業計画

第１回　イントロダクション
第２回　研究計画の作成
第３回　文献・調査の進捗状況の報告
第４回　文献・調査の進捗状況の整理
第５回　博士論文の概要報告（第１回目）
第６回　第一章草稿の検討
第７回　第一章草稿の再検討
第８回　第一章草稿の再々検討
第９回　学術論文投稿あるいは学会報告の準備（第１回目）
第10回　博士論文の概要報告（第２回目）
第11回　研究計画の検討
第12回　第二章草稿の検討
第13回　第二章草稿の再検討
第14回　第二章草稿の再々検討
第15回　博士論文の概要報告（第３回目）
第16回　第三章草稿の検討
第17回　第三章草稿の再検討
第18回　第三章草稿の再々検討
第19回　学術論文投稿あるいは学会報告の準備（第２回目）
第20回　博士論文の概要報告（第４回目）
第21回　研究計画の再検討
第22回　第四章草稿の検討
第23回　第四章草稿の再検討
第24回　第四章草稿の再々検討
第25回　博士論文の概要報告（第５回目）
第26回　第一章・第二章草稿の再々検討
第27回　第三章・第四章草稿の再々検討
第28回　草稿全体の整合性の確認
第29回　学術論文投稿あるいは学会報告の準備（第３回目）
第30回　博士論文の概要報告（最終回）

●準備学習の内容

受講生は報告の際には毎回レジュメを作成する必要がある。また，博士論文執筆に向けた計画的な準備も求められる。

●テキスト

受講生との協議によって決定する。

●参考書

適宜紹介する。

●学生に対する評価

毎回の報告内容（100%）によって評価する。報告についてのフィードバックは授業内におこなう。

■授業科目	■単位	■担当教員
比較政治学特殊研究Ⅲ	4	岩坂　将充

●授業の到達目標及びテーマ

テーマ：博士論文の完成
到達目標：博士論文を完成させる

●授業の概要

「比較政治学特殊研究Ⅰ」「比較政治学特殊研究Ⅱ」を踏まえ，これまでに作成した博士論文の概要をもとに完成に向けた執筆をおこなう。また，学術論文投稿・学会報告の準備も並行してすすめる。授業内では，受講生の報告にもとづき，フィードバックならびにディスカッションをおこなう。

なお，授業計画は受講生のテーマや進捗状況に応じて変更がありうる。

●授業計画

第１回　イントロダクション
第２回　章立て・文献等の確認と修正
第３回　序章前半の執筆
第４回　序章後半の執筆
第５回　第一章の執筆と検討
第６回　第一章の執筆と質疑
第７回　第一章の執筆と再検討
第８回　第一章の完成
第９回　第二章の執筆と検討
第10回　第二章の執筆と質疑
第11回　第二章の執筆と再検討
第12回　第二章の完成
第13回　第三章の執筆と検討
第14回　第三章の執筆と質疑
第15回　第三章の執筆と再検討
第16回　第三章の完成
第17回　第四章の執筆と検討
第18回　第四章の執筆と質疑
第19回　第四章の執筆と再検討
第20回　第四章の完成
第21回　終章前半の執筆
第22回　終章後半の執筆
第23回　各章の修正①（序章・第一章）
第24回　各章の修正②（第二章・第三章）
第25回　各章の修正③（第四章・終章）
第26回　論文全体の点検ならびに整合性の確認
第27回　各章の再修正①（序章・第一章）
第28回　各章の再修正②（第二章・第三章）
第29回　各章の再修正③（第四章・終章）
第30回　論文の最終点検ならびに完成

●準備学習の内容

受講生は報告の際には毎回レジュメを作成する必要がある。また，博士論文完成に向けた計画的な準備も求められる。

●テキスト

受講生との協議によって決定する。

●参考書

適宜紹介する。

●学生に対する評価

毎回の報告内容（40%）および論文内容（60%）によって評価する。報告についてのフィードバックは授業内におこなう。

■授業科目	■単位	■担当教員
ジャーナリズム論特殊研究Ⅰ	4	韓　永學

●授業の到達目標及びテーマ

到達目標：博士論文作成に向けて必要な知識やスキルを習得すること
テーマ：博士論文の構想にかかる研究指導

●授業の概要

本講義では，受講生の問題関心及び研究計画に基づき，メディアやジャーナリズムに関する博士論文の作成に向けて博士論文の構想と検討等，必要な研究指導を行う。

●授業計画

第１回　オリエンテーション
第２回　メディアやジャーナリズムに関する問題関心の確認
第３回　修士論文の検討
第４回　修士論文の限界や課題の確認
第５回　仮研究テーマの構想
第６回　仮研究テーマの設定
第７回　仮研究テーマに関する国内外の研究動向の把握
第８回　仮研究テーマの基本文献の調査(1)：日本語文献
第９回　仮研究テーマの基本文献の調査(2)：日本語文献
第10回　仮研究テーマの基本文献の調査(3)：外国語文献
第11回　仮研究テーマの基本文献の調査(4)：外国語文献
第12回　仮研究テーマの基本文献の収集(1)：日本語文献
第13回　仮研究テーマの基本文献の収集(2)：日本語文献
第14回　仮研究テーマの基本文献の収集(3)：外国語文献
第15回　仮研究テーマの基本文献の収集(4)：外国語文献
第16回　仮研究テーマの基本文献の読解(1)：日本語文献
第17回　仮研究テーマの基本文献の読解(2)：日本語文献
第18回　仮研究テーマの基本文献の読解(3)：外国語文献
第19回　仮研究テーマの基本文献の読解(4)：外国語文献
第20回　仮研究テーマの関連学説の概観
第21回　仮研究テーマの関連判例の概観
第22回　仮研究テーマの論点の整理と検討
第23回　仮研究テーマの独創性及び研究の実現可能性の検討
第24回　仮研究テーマの見直し
第25回　研究テーマの再設定
第26回　博士論文研究計画案の策定と検討
第27回　博士論文の構想の報告
第28回　博士論文の構想の検討(1)：研究の背景，目的等
第29回　博士論文の構想の検討(2)：研究の対象，方法等
第30回　総括

●準備学習の内容

（予習）研究テーマに即した文献・資料を読むこと（２時間程度）。
（復習）博士論文を構想し，緒論や課題を整理すること（２時間程度）。

●テキスト

初回の講義時に指示する。

●参考書

講義の中で適宜紹介する。

●学生に対する評価

報告内容（50%）及び討論（50%）により総合的に評価する。
報告内容については講義内で個々にコメントする。

■授業科目	■単位	■担当教員
ジャーナリズム論特殊研究Ⅱ	4	韓　永學

●授業の到達目標及びテーマ

到達目標：博士論文作成に向けて必要な知識やスキルを習得すること

テーマ：博士論文のテーマ設定と大枠構築

●授業の概要

本講義では，受講生の問題関心及び研究計画に基づき，メディアやジャーナリズムに関する博士論文の作成に向けてテーマの設定，博士論文の大枠構築等，必要な研究指導を行う。

●授業計画

第１回　オリエンテーション
第２回　博士論文のテーマの確認
第３回　研究計画案の再検討
第４回　先行研究の調査(1)：日本語文献
第５回　先行研究の調査(2)：日本語文献
第６回　先行研究の調査(3)：外国語文献
第７回　先行研究の調査(4)：外国語文献
第８回　先行研究の収集(1)：日本語文献
第９回　先行研究の収集(2)：日本語文献
第10回　先行研究の収集(3)：外国語文献
第11回　先行研究の収集(4)：外国語文献
第12回　先行研究の熟読(1)：日本語文献
第13回　先行研究の熟読(2)：日本語文献
第14回　先行研究の熟読(3)：外国語文献
第15回　先行研究の熟読(4)：外国語文献
第16回　先行研究の批判的分析
第17回　先行研究の課題析出
第18回　関連学説の分析・検討
第19回　関連判例の分析・検討
第20回　補充的な文献の収集・熟読
第21回　補充的な文献の批判的分析と課題析出
第22回　研究テーマの確定
第23回　博士論文研究計画の策定と検討
第24回　博士論文の基本的な構成の作成と検討
第25回　博士論文の骨子の作成(1)：序論
第26回　博士論文の骨子の作成(2)：本論
第27回　博士論文の骨子の作成(3)：本論
第28回　博士論文の骨子の作成(4)：本論
第29回　博士論文の骨子の作成(5)：結論
第30回　総括

●準備学習の内容

（予習）研究テーマに即した文献・資料を読むこと（２時間程度）。
（復習）博士論文の大枠を構築し，骨子を作成すること（２時間程度）。

●テキスト

初回の講義時に指示する。

●参考書

講義の中で適宜紹介する。

●学生に対する評価

報告内容（50%）及び討論（50%）により総合的に評価する。
報告内容については講義内で個々にコメントする。

■授業科目	■単位	■担当教員
ジャーナリズム論特殊研究Ⅲ	4	韓　永學

●授業の到達目標及びテーマ

到達目標：博士論文を完成すること

テーマ：博士論文の作成

●授業の概要

本講義では，受講生の問題関心及び研究計画に基づき，メディアやジャーナリズムに関する博士論文が作成できるように必要な研究指導を行う。

●授業計画

第１回　オリエンテーション
第２回　博士論文研究計画の再確認
第３回　博士論文の骨子の検討
第４回　序論のドラフト作成
第５回　序論の報告と討論
第６回　序論の作成
第７回　序論の再検討と補正
第８回　第１章のドラフト作成
第９回　第１章の報告と討論
第10回　第１章の作成
第11回　第１章の再検討と補正
第12回　第２章のドラフト作成
第13回　第２章の報告と討論
第14回　第２章の作成
第15回　第２章の再検討と補正
第16回　第３章のドラフト作成
第17回　第３章の報告と討論
第18回　第３章の作成
第19回　第３章の再検討と補正
第20回　第４章のドラフト作成
第21回　第４章の報告と討論
第22回　第４章の作成
第23回　第４章の再検討と補正
第24回　結論のドラフト作成
第25回　結論の報告と討論
第26回　結論の作成
第27回　結論の再検討と補正
第28回　博士論文の全体の再検討と補正
第29回　博士論文の最終確認
第30回　総括

●準備学習の内容

（予習）研究テーマに即した文献・資料を読むこと（２時間程度）。
（復習）博士論文の執筆を進めること（２時間程度）。

●テキスト

初回の講義時に指示する。

●参考書

講義の中で適宜紹介する。

●学生に対する評価

報告内容（30%），討論（20%）及び博士論文の内容（50%）により総合的に評価する。
報告内容については講義内で個々にコメントする。

■授業科目	■単位	■担当教員
論文指導Ⅲ	4	若月　秀和

●授業の到達目標及びテーマ

テーマ：博士論文の完成に向けて。

到達目標：受講生が決定したテーマ，すなわち，「世紀転換期の日中関係」に関する博士論文の完成を目標 とする。

●授業の概要

前年度までに作成した博士論文の概要を出発点に，論文に絡む幾つかの論点を整理したうえで，論文の問題設定に即しているか，あるいは章と章のつながりを確認しながら，執筆作業を進めていく。

●授業計画

第１回　オリエンテーション
第２回　論点整理①（冷戦後の日本外交）
第３回　論点整理②（冷戦後の米中関係）
第４回　論点整理③（冷戦後の日本の地域政策―ASEAN＋３から ASEAN＋６）
第５回　論点整理④（日本国内の親中国派の衰退と親台湾派の台頭）
第６回　論点整理⑤（対ロ外交や対印外交の持つ対中外交へのインプリケーション）
第７回　論点整理⑥（対中ODA廃止論の高まりの過程）
第８回　論点整理⑦（日米安保再定義と日中関係）
第９回　論点整理⑧（朝鮮半島情勢と日中関係）
第10回　序章の内容の整理・再検討
第11回　序章の内容の確定
第12回　第１章の内容の整理
第13回　第１章の内容の再検討
第14回　第１章の内容の確定
第15回　第２章の内容の整理
第16回　第２章の内容の再検討
第17回　第２章の内容の確定
第18回　第３章の内容の整理
第19回　第３章の内容の再検討
第20回　第３章の内容の確定
第21回　第４章の内容の整理
第22回　第４章の内容の再検討
第23回　第４章の内容の確定
第24回　第５章の内容の整理
第25回　第５章の内容の再検討
第26回　第５章の内容の確定
第27回　最終章の内容の整理
第28回　最終章の内容の再検討
第29回　最終章の内容の確定
第30回　論文全体の最終確定

●準備学習の内容

一定のペース配分に基づいて，決められた範囲まで執筆作業を進める。

●テキスト

特に指定しない。

●参考書

適宜紹介する。

●学生に対する評価

報告内容（20%）及び論文（80%）による。その内容・結果については 授業内で個々にコメントする。

■授業科目	■単位	■担当教員
論文指導Ⅰ	4	樽見　弘紀

●授業の到達目標及びテーマ

博士論文のテーマ設定から完成に至る一連のプロセスのなかで「伴走支援」しつつも，受講者の主体性を重んじた論文指導を心がけたいと思います。

●授業の概要

この「論文指導Ⅰ」では，
①テーマについて（今年度は「アメリカにおける教育と市民社会」）
②分析枠組について
③先行研究について
等のうち，とりわけ③の「先行研究」に力点を置きます（＝「教育」に特化した論文のみならず，折に触れアレキシ・ド・トクヴィル『アメリカの民主主義』等の古典に立ち返る）。

●授業計画

第１回　オリエンテーション（講読テキストの決定を含む）
第２回　分析枠組の検討01
第３回　分析枠組の検討02
第４回　分析枠組の検討03
第５回　分析枠組の検討04
第６回　分析枠組の検討05
第７回　先行研究講読01
第８回　先行研究講読02
第９回　先行研究講読03
第10回　先行研究講読04
第11回　先行研究講読05
第12回　先行研究講読06
第13回　先行研究講読07
第14回　先行研究講読08
第15回　前期Wrap-Up
第16回　分析枠組の検討06
第17回　分析枠組の検討07
第18回　分析枠組の検討08
第19回　論文指導01
第20回　論文指導02
第21回　論文指導03
第22回　論文指導04
第23回　論文指導05
第24回　論文指導06
第25回　論文指導07
第26回　論文指導08
第27回　論文指導09
第28回　論文指導10
第29回　論文指導（予備日）
第30回　後期Wrap-Up

●準備学習の内容

「報告レジュメ」については，授業に先立ち，遅くとも当日の朝までに担当者に事前送信するものとする。

●テキスト

TBA：第一回目の授業（オリエンテーション）のなかで，履修者と協議の上，年間の読書リストを作成する。

●参考書

TBA（同上）

●学生に対する評価

報告を中心とした論文の進捗状況（50%）＋最終課題（50%）。評価については，期中，期末と複数回履修者にフィードバックする。

■授業科目	■単位	■担当教員
論文指導Ⅲ	4	樽見　弘紀

●授業の到達目標及びテーマ

博士論文のテーマ設定から完成に至る一連のプロセスのなかで「伴走支援」しつつも，受講者の主体性を重んじた論文指導を心がけたいと思います。とりわけ，休学からの復学者については，大学院入学時点に遡って（研究のみならず）大学院に所属することの意味を一緒に考えたいと思います。

●授業の概要

この「論文指導III」では，
①テーマについて
②分析枠組について
③先行研究について
等のいずれにも目配せしながら，最終的に論文に仕上げるまでをサポートします。

●授業計画

第１回　オリエンテーション（講読テキストの決定を含む）
第２回　論文指導01
第３回　論文指導02
第４回　論文指導03
第５回　論文指導04
第６回　論文指導05
第７回　論文指導06
第８回　論文指導07
第９回　論文指導08
第10回　論文指導09
第11回　論文指導10
第12回　論文指導11
第13回　論文指導12
第14回　論文指導（予備日）
第15回　前期Wrap-Up
第16回　論文指導13
第17回　論文指導14
第18回　論文指導15
第19回　論文指導16
第20回　論文指導17
第21回　論文指導18
第22回　論文指導19
第23回　論文指導20
第24回　論文指導21
第25回　論文指導22
第26回　論文指導23
第27回　論文指導24
第28回　論文指導25
第29回　論文指導予備日
第30回　後期Wrap-Up

●準備学習の内容

「報告レジュメ」については，授業に先立ち，遅くとも当日の朝までに担当者に事前送信するものとする。

●テキスト

TBA：第一回目の授業（オリエンテーション）のなかで，履修者と協議の上，年間の読書リストを作成する。

●参考書

TBA（同上）

●学生に対する評価

報告を中心とした論文の進捗状況（50%）＋最終課題（50%）。評価については，期中，期末と複数回履修者にフィードバックする。